

平成30年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- | | |
|-----|------------------------------------|
| I | スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び |
| II | マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成 |
| III | スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築 |
| IV | 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成 |
| V | スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成 |

道府県・政令市名【北九州市】

| | |
|---------------|--|
| 1 実践テーマ | 【II III IV V】 |
| 2 実施対象者 | 松ヶ江南小学校児童664名 職員28名 |
| 3 展開の形式 | (1) 学校における活動 ① 教科名（道徳、体育、総合的な学習の時間） ② 行事名（「おもてなしの心」講演会） ③ その他（ ） (2) 地域における活動 ① イベント名（ ） ② その他（ ） |
| 4 目標 (ねらい) | ・グローバルマナーとおもてなしの心を学ぶことで、児童の心と体の健やかな成長をめざす。 ・礼節を重んじ、助け合って生活する国民性である日本の子ども達に、他者を思いやる心とボランティアマインドを醸成する。 ・オリンピック・パラリンピックに向け、スポーツを楽しむ心を醸成する。 |
| 5 取組内容 | 1 児童の心と体の健やかな成長を図るための職員研修の実施 ・人権教育研修 ・自殺予防研修 ・アンガーマネジメント研修 等 2 6学年を対象とした実業団の陸上運動指導者による「走り方教室」の実施 3 各教科等における各学年の発達段階に応じた「おもてなし」や「ボランティア精神」の醸成、障害者や高齢者への理解、共生社会の形成、スポーツを楽しむ心の醸成などに関する指導。 4 人権に関する保護者向け学習参観と5、6年児童と保護者対象の講演会の実施 5 「グローバルマナーとおもてなしの心」について、江上いずみ氏による講演会の実施 |

6 主な成果

1 児童の心と体の健やかな成長を図るための職員研修の実施

- ・人権教育研修
- ・自殺予防研修
- ・アンガーマネジメント研修 等

共生社会の実現に向け、その形成者としての児童に必要な資質能力の育成に資するための職員研修となった。

2 6学年を対象とした実業団の陸上運動指導者による「走り方教室」の実施

- ・陸上の専門家による指導を受けることによって、各競技に特化した練習を経験し、個々の運動能力を高めることに繋がった。

結果として、陸上記録会でそれぞれの記録を更新することができ、スポーツを楽しもうとする意識が高まった。



専門家による指導を受けているところ



練習の様子

3 各教科等における各学年の発達段階に応じた「おもてなし」や「ボランティア精神」の醸成、障害者や高齢者への理解、共生社会の形成、スポーツを楽しむ心の醸成などに関する指導。

- ・「新版いのち」や「北九州つながりプログラム」等を活用した授業の実施

4 人権に関する保護者向け学習参観と講演会の実施

- ・6年生児童及び保護者対象
- ・「親子で学ぶ命の授業」—大切なあなたに伝えたいこと—
〈講師〉

北九州少年サポートセンター
係長 安永 智美 様

- ・11月1日（木）に5・6年生の児童と保護者対象に開催した。

様々な事例をもとに命の大切さについてお話を伺った。



講演の様子

5 「おもてなしの心」についての講演会の実施

講師に、筑波大学客員教授 江上 いずみ 様 をお招きし、「グローバルマナーとおもてなしの心」についてお話をしていただいた。

対象は、全児童で、低学年と高学年に分けて、それぞれの発達段階に応じた話をしていただいた。

12月6日（木）1～3年生（60分）4～6年生（90分）



講演会の様子



こんな返事のしかたはありますか？



よい姿勢の印象は？



握手はお互い笑顔で目を見て、ほどよく力を込めて



全員で分離礼を練習



児童とのお別れ

- ・「もて成し」という言葉に丁寧語の「お」を付けた「心を以って行為を成す」という意味や「待遇」「歓待」の意味があること。また、「表なし」＝「表裏なし」という意味があること。つまり「表裏のない本心で大切なお客様をお迎えする」という意味があるなど、「おもてなし」という言葉の意味について分かりやすく説明していただいた。
- ・担任の先生の出番があったり、握手の仕方や分離礼の仕方について実践を取り入れたりしながら話をしていただいたので、子ども達に分かりやすかった。
- ・学級によっては、この講演を受けて、ルールやマナーについての話し合いをしていた。

7実践において工夫した点
(事業の特色)

- ・本校の児童は、明るく活発で子どもらしい反面、乱暴な言動や相手の気持ちを考えない発言が目立つため、ルールやマナーを学ぶ為の機会を多く設定するように内容を工夫した。

8主な課題等

- ・講演会において、江上先生には「おもてなしの心」などについてお話をいただいたが、1度の話ではなかなか子ども達の身に付かないので、江上先生の話を受けて、各学級で振り返りの指導をすることが大切である。今回、いくつかの学級では指導を行っていたが、全学級での実施はできなかった。また、保護者にも聞いていただきたいと考え、案内をしたが、平日の午前中であったため参加が少なかった。

9来年度以降
の実施予定

- ・障害者スポーツについて、パラリンピアン等を招聘しお話を伺ったり、実際にスポーツを体験したりする機会を設けたい。